

①-4 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務関係 専門課程	会計ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,830 単位時間 (会計コース)	1,527 単位時間	93 単位時間	210 単位時間		
		1,830 単位時間					
2年	昼	2,030 単位時間 (1級コース)	1,826 単位時間	25 単位時間	179 単位時間		
		2,030 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		47人	0人	5人	2人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要)			
<p>経済や社会が移り変わっても、企業を支える土台となるのは会計に関する専門知識である。専門知識を習得するため全員が日商簿記2・3級の取得を目指す。日商簿記2・3級の知識をベースに、日商簿記1級及び全経簿記上級や国家検定であるファイナンシャル・プランナーなど高度な資格の取得を目指しチャレンジしていく。さらにパソコンなど経理の実務に必要な幅広い知識と技能、対応マナーやプレゼンテーション技能を習得して、信頼される経理事務管理者などの人材を育成する。</p> <p>1年次：会計の土台となる簿記を基礎から学ぶ。2年次：会計に関する知識を深め、ビジネスマナーやプレゼンテーション能力を高める。</p>			
成績評価の基準・方法			
(概要)			
<p>学生が履修した授業科目の成績の評価及びグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「GP」という。）は、下記の表のとおりとする。</p>			
評価		得点	GP
A	基準を超えて優秀である	80点以上	3.0
B	基準に十分達している	70～79点	2.0
C	単位を認める最低限の基準に達している	60～69点	1.0
D	基準を下回っている（不合格）	59点以下	0.0
<p>GPAは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。</p>			
$GPA = \frac{(GP \times \text{時間数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総時間数}}$			

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 進級の要件</p> <p>① 年次出席率 80%以上</p> <p>② 科目ごとの総合評価がすべて C 以上</p> <p>③ 学費及び補助活動費が納入済み</p> <p>※上記①～③の条件のすべてを満たさない者は、進級できず留年となる。ただし、特別に学校長が認めた者については、この限りではない。</p> <p>(2) 卒業の要件</p> <p>① 卒業基準検定・資格の取得</p> <p>これを満たせない者は、同等レベルの認定試験を受験し合格すること。認定試験を受けるに際しては、他の検定取得状況、出席状況によってその受験資格の有無が決定される。</p> <p>② 年次出席率 80%以上</p> <p>③ 科目ごとの総合評価がすべて C 以上</p> <p>④ 学費及び補助活動費が納入済み</p> <p>※上記①～④の条件のすべてを満たさない者は、卒業できない。但し、特別に学校長が認めた者については、この限りではない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。 ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。 ・就職研修による就職指導。 ・個別面談、三者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	29人 (96.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
税理士事務所、一般企業経理部門			
(就職指導内容)			
面接、作文、筆記試験、履歴書指導			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
ファイナンシャルプランニング技能検定、日商簿記検定、全経簿記能力検定、建設業経理士検定、社会福祉法人経営実務検定、所得税法・法人税法・消費税法能力検定、Word 文書処理技能認定試験、Excel 表計算処理技能認定試験、コンピュータ会計能力検定、電卓計算能力検定(段位)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	1人	1.9%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談、カウンセリング、遅刻管理、出欠席管理、学生アンケート		